

## 1. 基本的な事項

### ○空港の特徴

・福岡空港は人口260万人超を擁する福岡都市圏を背景に持ち、都心部からのアクセスは約10分と非常に利便性に優れた空港である

・2021年度の乗降客数は946.6万人(国内944万人、国際2.6万人)、航空貨物は14.5万トン(国内11.9万トン、国際2.6万トン)、着陸回数は59,277回(国内58,045回、国際1,232回)

### ○空港脱炭素化に向けた方針

・旅客ターミナルビル、庁舎等において、高効率空調機器への更新、照明、灯火のLED化等の省エネのほか、再生可能エネルギーの導入、環境価値の購入などに取り組む

## 2. 温室効果ガスの排出量

| 区分        | 温室効果ガス排出量[t/年] |           |       |
|-----------|----------------|-----------|-------|
|           | 2013年          | 現状(2019年) |       |
| 空港施設      | 37.4千          | 21.4千     |       |
| 空港車両      | 3.7千           | 4.4千      |       |
| 空港施設・車両 計 | 41.2千          | 25.8千     |       |
| (参考)      | 航空機            | 16.9千     | 18.3千 |
|           | 空港アクセス         | 24.6千     | 20.9千 |

## 3. 温室効果ガスの削減目標

|          |                 |
|----------|-----------------|
| 2030年度目標 | 2013年度比 50.2%削減 |
| 2050年度目標 | カーボンニュートラル      |

## 4. 主な取組

- ・2030年度：ターミナルビル、庁舎の照明LED化、空調の高効率化等による省エネ、太陽光発電の設置を行い再生可能エネルギーを導入
- ・2050年度：太陽光発電設備の拡充を行い、蓄電池の導入を検討



取組の内容及び実施可能性のある箇所

### その他の取組

- ・車両の更新時期に合わせEV化に取り組むとともに、共有化について検討を行う
- ・EV化されない車両についてはバイオ燃料の活用により脱炭素化を進める